

特集

環日本海地域の「環境・エネルギー先端県」を目指して

～ 水と緑に恵まれた環境が保全・創造され、人と自然が共生しながら発展する富山 ～

1 はじめに

現在、私たちは、都市・生活型公害や廃棄物による環境負荷の増大から、まったなしの状況にある地球温暖化をはじめ、黄砂や酸性雨、漂着ごみなどの国境を越えて影響を及ぼす地球規模の問題まで、広範囲に及ぶ環境問題に直面しています。当然、富山県もその例外ではありませんが、本県では、産業公害を克服してきた経験とその中で培われた県民の高い環境意識のもと、数々の環境問題に果敢に取り組んでいます。

この特集では、富山県が県民の皆さんと力を合わせて取り組んでいる施策のうち、24年度の取り組みを紹介します。

2 循環型社会と低炭素社会づくりの推進

一般廃棄物の排出量及び再生利用率は、ほぼ横ばいで推移しています。また、平成21年度の温室効果ガス排出量は、基準年度（2年度）と比べ11.4%減少していますが、民生部門（業務・家庭）は増加しています。

県では、ごみや二酸化炭素を極力出さないエコライフを推進するため、県民団体や事業者などが参加する「環境とやま県民会議」を中心に、レジ袋削減など県民総ぐるみの取り組みを進めています。

①富山型生ごみ減量・活用事業

事業系生ごみの広域的リサイクルシステムの検討、エコ・クッキング料理教室やレシピコンテストの開催、エコ・ストア（仮称）登録制度の検討を行っています。



エコ・クッキング料理教室

②とやまメガ節電所プロジェクト

インターネット上に仮想の節電所が稼動するウェブサイトを開設し、家庭や事業者に節電を呼びかけています。



とやまメガ節電所プロジェクト
ウェブサイトのトップページ

③とやま省エネ電球普及促進キャンペーン

家電販売店等と連携し、省エネ電球への交換を呼びかけます。

④エコ企業体験ツアーモデル事業

工場見学と環境教育を組み合わせたバスツアーを開催します。

3 自然環境の保全

富山県は本州一の植生自然度を誇り、豊かな自然に恵まれています。経済活動の進展等に伴う環境負荷の増大で、人と自然との関係が希薄化しています。

また、生態系の維持・回復など生物多様性の確保の取組みの重要性が拡大しています。



僧ヶ岳

①僧ヶ岳県立自然公園の施設整備

保護施設と利用施設の整備を行っています。

②雄山山頂トイレリフレッシュ事業

雄山山頂トイレの環境配慮型への改修事業に対して支援を行っています。



レッドデータブックの普及啓発

③生物多様性保全推進事業

「レッドデータブックとやま」の普及啓発や生物多様性保全の調査検討を行っています。

4 生活環境の保全

県内の生活環境は概ね良好な状況ですが、ダイオキシン類による底質汚染のほか、水生生物の生息環境の保全に向けた環境基準の設定への適切な対応、県民等による自主的な環境保全活動の展開が必要となっています。

また、日本海対岸地域の工業化等により、漂着ごみ等の環境問題が顕在化し、わが国への影響が懸念されています。

このほか、イタイタイ病の教訓や克服の歴史の風化と関係資料の散逸が懸念されています。

①とやま水の生き物保全事業

水生生物保全環境基準設定の検討や保全活動への支援を行っています。

②星空の街・あおぞらの街推進事業

星空観察会への講師派遣や写真絵画コンテストを行っています。

③富山湾リモートセンシング調査事業

衛星画像による広域的な藻場の生育調査等を行っています。

④イタイタイ病資料館管理運営事業

開館イベント、語り部事業、資料館に来て・見て・学ぼう事業等を行っています。



簡易な水質測定（透明度）



イタイイタイ病資料館

5 水資源の保全と活用

富山県は豊かで清らかな水環境を有していますが、地下水については、消雪設備の増加等に伴う冬期間の地下水位の一時的な低下への対応が必要です。

また、本県は全国2位の包蔵水力（技術的・経済的に利用可能な水力エネルギー量）を有していますが、未開発の水力も多いことから、多面的な水資源の活用が求められています。

①地下水涵養推進モデル事業

水田を活用した地域ぐるみの地下水涵養を推進しています。

②地下水の守り人事業

消雪設備の節水、名水の保全等の地域に根ざした活動を推進しています。

③小水力発電所の導入促進

庄発電所（砺波市）及び山田新田用水発電所（南砺市）の建設を継続しています。

④マイクロ水力発電導入促進事業

導入意向調査や企業への導入に向けた支援を行っています。



消雪設備の節水

名水の保全活動



地下水の守り人（活動例）



庄発電所（砺波市）

6 おわりに

これまでの環境保全施策に一定の進展が見られる一方で、地球規模での環境問題（地球温暖化、資源枯渇、生物多様性の損失等）の深刻化が懸念されているほか、ライフスタイルや事業活動のあり方を見直した安全安心で持続可能な地域づくりが求められています。

富山県では、今後とも本県の特色を活かし、県民一人ひとりが将来にわたって持続可能な地域づくりに向けた取組みを他に先駆けて果敢に実践することによって、良好な環境を保全するとともに、環境に優しい再生可能エネルギーを創造し、環日本海地域の「環境・エネルギー先端県」の実現を目指します。

環境月間ポスター 富山県知事賞 (最優秀賞)



小学生の部 高岡市立二塚小学校 6年 石田 万千さん



中学生の部 砺波市立庄西中学校 3年 向井 真菜さん

愛鳥に関するポスター 富山県知事賞



小学生の部 氷見市立窪小学校 6年 角地 亜友さん

中学生の部

砺波市立庄川中学校 2年 宅間 夏樹さん



高校生の部 富山第一高等学校 2年 中野 夏帆さん